

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)諸岡3丁目マンション

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						3.3
Q1 室内環境			0.40		-	3.7
1 音環境		4.0	0.15	3.9	1.00	3.9
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音		5.0	0.50	4.8	0.50	
1 開口部遮音性能	T-2を採用	5.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能	TDL-60を採用	3.0	-	5.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	LL-40を採用	3.0	-	5.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	LH-50を採用	3.0	-	4.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-	
2 温熱環境		2.6	0.35	4.0	1.00	3.7
2.1 室温制御		3.0	0.50	4.0	1.00	
1 室温	冬季22℃、夏季26℃	3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能	5-1断熱等性能等級4	3.0	0.38	4.0	1.00	
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式	風向制御あり	3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		2.9	0.25	3.7	1.00	3.5
3.1 昼光利用		1.8	0.30	4.0	0.35	
1 昼光率	住居部:4.595%	1.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口	南面に窓がある	-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備	昼光利用設備なし	3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		4.0	0.30	4.0	0.35	
1 昼光制御	共用部:ブラインド+庇、住居部:カーテン+庇	4.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.29	
4 空気質環境		4.2	0.25	4.0	1.00	4.0
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆以上の建材を採用	5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.40	2.3	0.38	
1 換気量	建築基準法を満たす換気量	3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		3.0	-	1.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮	汚染源のない方向に設置している	3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.5
1 機能性		3.8	0.40	4.2	1.00	4.1
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応	住居の各居室にGbit対応	3.0	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法を満たしている	4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40	
1 広さ感・景観	LD天井高=2.45m	3.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
3 内装計画	評価する取り組みが2項目	3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理		4.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	評価する取り組みが6項目	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	評価する取り組みが10項目	5.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	基準法に定められた耐震性を有する	3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能	揺れを抑える装置を導入していない	3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級2	4.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ほぼ全てに亜鉛鉄板を採用	3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給排水管にB種を採用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	更新必要間隔15年	3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		2.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3 電気設備	評価する取り組みが一つ	3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法	耐震クラスB	3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.6	0.30	3.1	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50	
1	階高のゆとり	階高=2.91m	3.0	-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		居室の積載荷重=1,800N/m ²	3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.6	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性	中央式空調設備をもたない	3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	構造部材を痛めることなく修繕更新できる	4.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	構造部材だけでなく仕上材を痛めることなく修繕更新できる	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	仕上材を痛めることなく修繕更新できる	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	更新ルートはあるが更新時に維持不能	3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	バックアップスペースが確保されていない	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		評価ポイントが3	3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	評価ポイントが2	3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	評価ポイントが10	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制		専有部が外皮に2方向面している	3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = -	4.0	0.50	-	-	4.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	取り組みなし	3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	設備ごとの取扱説明書が居住者に手渡されている	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	節水コマ、節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用の仕組みなし	3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	雑排水等を利用していない	3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.2	0.60	-	-	2.2
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.13	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		-	-	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.25	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.25	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.13	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み		3.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用	確認していない	3.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0を採用	3.0	0.50	-	-	
3	冷媒	ODP=0を採用	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		LED照明を採用した	4.2	0.33	-	-	4.2
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	評価ポイント3	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音	規制対象建築物以外	3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制	風害対策に対する要請がない	3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制	日影規制を満たしている	3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	評価ポイント4(公害対策ガイドライン)	5.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	対策を行っていない	3.0	0.30	-	-	